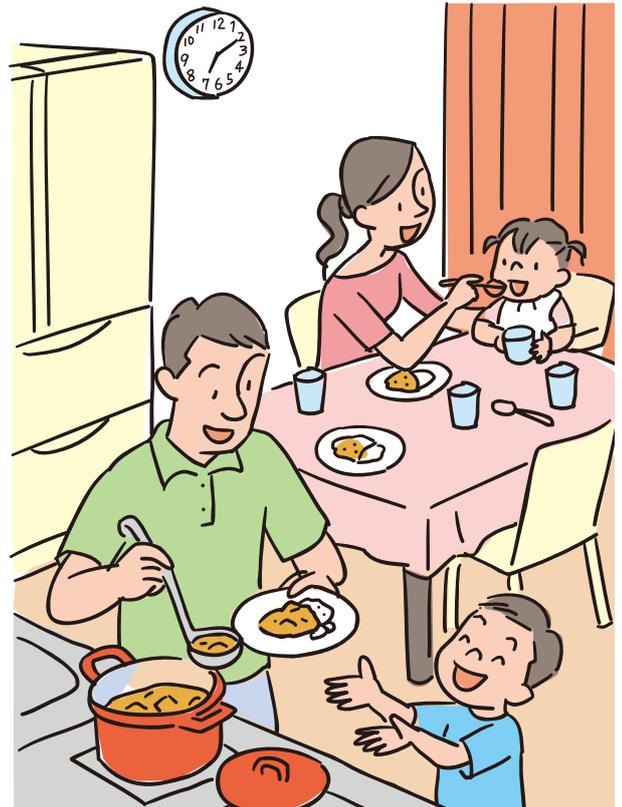


特集

ともに考えよう

女性も男性も
自分らしく生きる

社会に向けて



男女共同参画社会は、

誰もが個性と能力を発揮できる社会です。

女性も自分の力を活かして働きたい。

男性も子育てを楽しみたい。

いきいきと自分らしく暮らしたい。

社会の構造が大きく変わるなか、

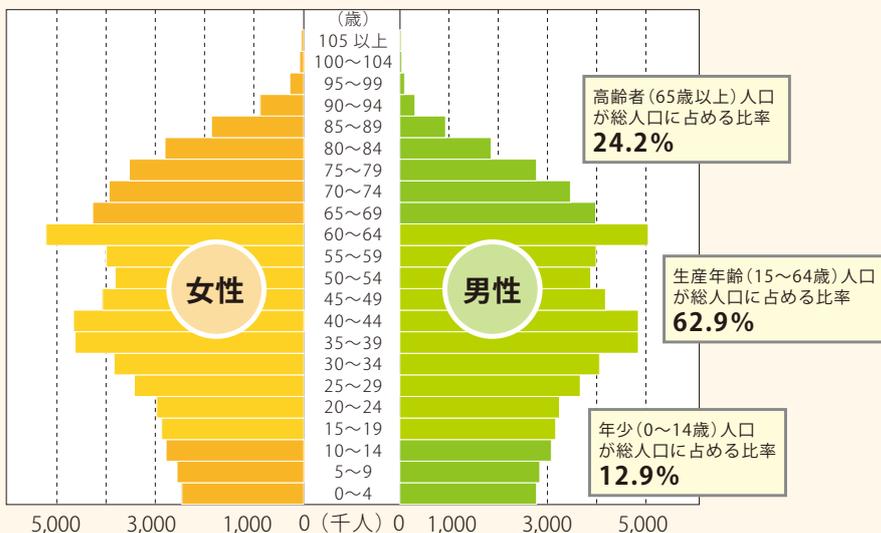
どうしたらそんな社会が

実現できるのでしょうか。

今回の特集では、7月7日に行われた

東京大学教授・瀬地山角さん（ジェンダー論）

の講演からヒントを探ってみました。



DATA 1 年齢階級別人口 (2012年・男女別)

『男女共同参画白書 平成24年版』より作成

データに見る
少子高齢社会と
男女共同参画

生産人口が減少する少子高齢社会

高齢人口が増加する一方、生産年齢人口が減少。平成24年は1人の高齢者を2.6人の現役世代で支えているが、将来推計人口によれば2055年には1人の高齢者を約1.3人の現役世代で支えることになると見込まれている。